

普及活動情勢報告

情勢報告（平成26年6月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

情勢報告

高南地域営農協議会総会（6月2日）



高南地域の農業・農村の振興及び発展を図ることを目的とした農業関係機関の協議会総会が開催され、会員78名中62名が参加し、昨年度実績報告及び本年度計画（案）を協議し承認されました。

この協議会は、企画・担い手部会、作物振興部会、畜産振興部会、販売・加工部会の4部会に分かれています。40万円程度の少ない予算ですが、各部会が知恵を出し合い、課題解決に向けた栽培実証は、研修会、先進地視察、イベント等の事業に関係機関が一丸となって取り組んでいくこととなりました。

ニラ部会総会（6月19日）



J A四万十ニラ部会総会が行われました。会では、H25年度事業報告やH26年度計画が承認され、新役員が決定しました。

その後、病害虫防除所から「ネギアザミウマ薬剤検定結果と対応策について」情報提供を行い、普及所からは炭酸ガスや緑色LEDの現地実証結果や産地総合戦略の進捗状況について報告しました。農家からは「早めの農薬登録を」「新技術について導入を検討したい」等の声が聞かれました。

経営分析個別説明会（5月21、22、27日）



興津青壮年部や記帳代行農家を対象として、H25年の経営・出荷データをもとにした経営分析個別説明会をJ Aと共に行いました。

会には32戸の参加があり、過去3ヵ年の経営推移や出荷状況を農家と一緒に確認し、生育調査結果からみた栽培上の注意点や今後の作型、改善策について話し合いました。

参加農家からは「収量をあと1割増やしたい」等の目標も聞かれました。今後も農家の目標達成、所得向上に向けて支援していきます。

農事組合法人ビレッジ影野総会（5月31日）



組合員20名（委任状含む）が出席して、第5回通常総会が開催され、25年度実績報告や26年度事業計画と併せて、経営多角化に向けた株式会社への組織変更が全員一致で可決承認されました。
引き続き、組織変更の手続き等を支援します。

茎えそ病対策の周知（5月30日）



J A高知はた大正支所園芸部総会において、茎えそ病の対策について部会員11名に情報を提供しました。
大正地区には、本県で発生が確認されたキクとパプリカ、感染の可能性があるピーマン、シシトウ等が栽培されております。また、本病を媒介するミカンキイロアザミウマの発生が問題となっている地域であり、病徴や伝染方法、防除対策を説明し、産地全体へ注意を喚起しました。